

伝票データインポート

テキストファイルを読み込み、各伝票データを作成します。
対応するファイルの形式はタブ区切りのテキストファイル・CSVファイルです。

インポートできるデータは以下です。

- ・受注データ
- ・発注データ
- ・売上データ
- ・仕入データ

Point

- ・インポートでは伝票の新規追加のみできます。既存伝票の変更、削除はできません。インポート後のデータを修正する場合は、各入力画面から行ってください。
- ・各伝票間の紐付けはできません。
※インポートした受注と売上、発注と仕入を紐付けることはできません。
- ・名称などの文字項目の前後空白は削除されます。文字間の空白は削除されません。
- ・ロット商品の返品(売上、仕入)データは登録できません。
- ・ロット商品は各入力画面と同様にLOTNoを指定してください。
LOTNoを指定した場合、売上では「売上日時時点で在庫がある」最古賞味期限のLOT連番のロットを採用します。
- ・輸出入経費データはインポートできません。
- ・総値引はインポートできません。値引を指定する場合は伝区コードと商品コードを指定してください。

1) インポート前準備: インポートするデータを作成

ふくろう販売にインポートするファイルを、作成します。
インポートするファイルの作成方法に指定はありません。
タブ区切りのテキストファイル(.txt)またはCSVファイル(.csv)を取り込むことができます。

例) エクセルで手入力、他の販売管理ソフトから出力・・・など

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	伝票日付	得意先コード	仕入先コード	納入時間区分	納入時間	伝区コード	倉庫コード	商品CD	員数	単価	原単価		
2	20150417	0001-00	0001-00		0 0930	C10	0000	01 01 AO-25X8000	1	1000	800		
3	20150417	0001-00	0001-00		0 0930	C10	0000	01 02 AO-30X8000	1	2000	1600		
4	20150417	0002-00	0002-00		1 +0959	C10	0000	01 01 AO-25X8000	1	1000	800		
5	20150417	0002-00	0002-00		1 0959	C10	0000	01 02 AO-30X8000	1	2000	1600		

名前	更新日時	種類	サイズ
伝票インポートテスト1	2015/06/15 16:25	テキストドキュメント	1 KB

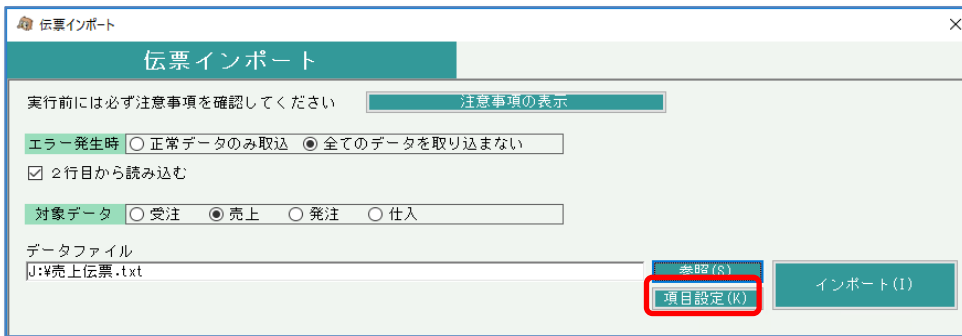
エクセルでタブ区切りのインポートファイルを作成する場合

- ①エクセルでインポートファイルを作成
- ②名前を付けて保存からタブ区切りのテキストファイルを選択
- ③任意のフォルダにインポートファイルを保存

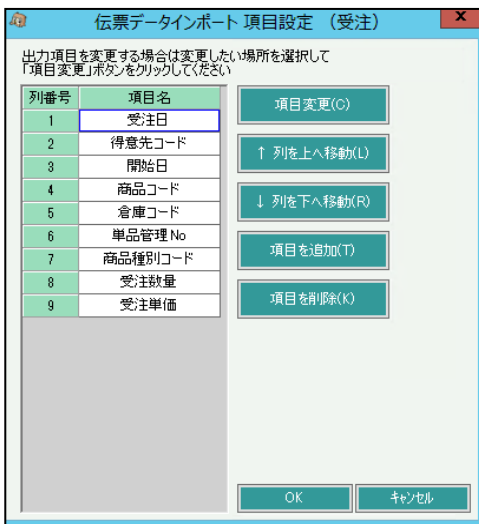
2) インポート前準備: インポート項目の設定

各インポートデータ毎にインポートする項目を設定することができます。
以下、契約見積データを例に説明します。

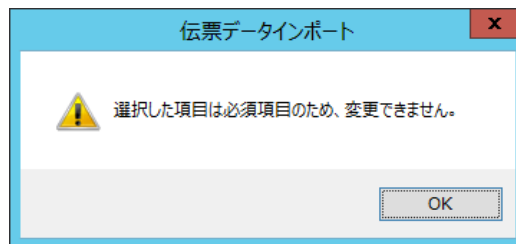
① 伝票インポート画面から「項目設定」ボタンをクリックします。



② 項目設定画面で項目を設定します。



- ・項目の変更、移動、追加、削除の操作ができます。
 - ・OKボタンをクリックすると、設定内容が保存されます。
 - ・キャンセルボタンをクリックすると、設定内容は保存されません。
- ※インポート必須項目は項目変更、削除できません。
以下のメッセージが表示されます。



③ 必要な項目がなければ、項目を追加します。

The sequence of screenshots illustrates the process of adding a new item:

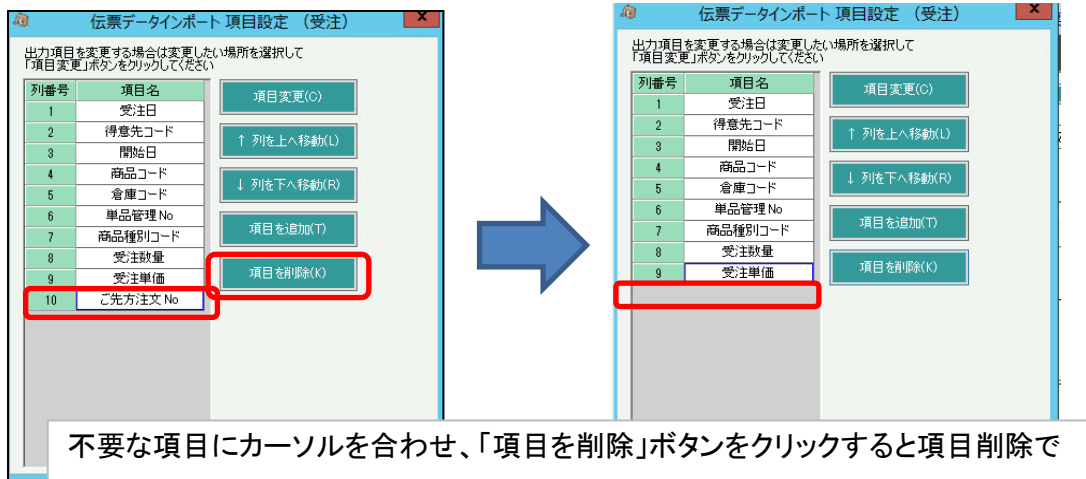
- The first screenshot shows the '項目設定 (受注)' window with the '項目を追加(T)' button highlighted by a red box.
- The second screenshot shows the '項目変更(C)' button highlighted by a red box. A blue arrow points to the 'ご先方注文No' item in the table, which is also highlighted by a red box.
- The third screenshot shows the final state where the 'ご先方注文No' item has been added to the list at row 10.

「項目を追加」ボタンをクリックすると、空白の項目が追加されます。

「項目変更」ボタンをクリックすると、項目一覧が表示されます。追加する項目をクリックしてください。

空白に選択項目(先方注文No)が追加されました。

④ 不要な項目を削除



⑤ 各インポートデータの必須項目

以下の項目は必須項目になります。項目削除、変更はできません。

■受注	■売上	■発注	■仕入
※ 受注No	※ 伝票No	※ 発注No	※ 伝票No
受注日	売上日	発注日	仕入日
得意先コード*	得意先コード*	仕入先コード*	仕入先コード*
納期	商品コード*	納期	商品コード*
商品コード*	倉庫コード	商品コード*	倉庫コード
倉庫コード*	売上数量	倉庫コード*	仕入数量
受注数量	売上金額	発注数量	仕入金額
受注単価		発注単価	

※ 受注No、伝票Noなどは採番方法が手入力時のみ、必須指定になります。
自動採番の場合はインポート時に自動で番号が設定されます。

※ 売上、仕入は金額を指定します。
単価を項目に指定しない場合、金額÷数量で自動設定されます。(端数は四捨五入)

※ 外貨の得意先の受注インポートでは外貨の指定は必須です。(外貨仕入先への発注も同じ)
単価(円)は項目に含まれる必要がありますが値は自動計算されるため0を指定してください

※ 外貨の得意先の売上インポートでは外貨金額の指定は必須です。(外貨仕入先への仕入も同じ)
金額(円)は項目に含まれる必要がありますが値は自動計算されるため0を指定してください

Point

- ・同じ項目を複数行に設定することはできません。
 - ・空白の行は設定することはできません。
 - ・インポートデータは列番号順に並べる必要があります。
- 例) 上記画面の項目順に並べたインポートデータ

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
伝票日付	納期	得意先コード	仕入先コード	納入時間区分	伝区コード	倉庫コード	商品CD	買数	単価	原単価
20150417	50420	0001-00	0001-00		0 C10	0000	01 01 A0-25X8000	1	1000	800
20150417	20150420	0001-00	0001-00		0 C10	0000	01 02 A0-30X9000	1	2000	1600
20150417	20150420	0002-00	0002-00	1	C10	0000	01 01 A0-25X8000	1	1000	800
20150417	20150420	0002-00	0002-00	1	C10	0000	01 02 A0-30X9000	1	2000	1600

3) データインポート

各伝票のファイルを指定して、「インポート」ボタンをクリックすると、処理が始まります。

Point

- ・ インポートのエラー時の動作を以下①、②のいずれかに設定できます。

- ① エラーデータはスキップし、正常データのみをインポートする。
エラーデータは元のファイル名 + 「未処理伝票」という名前のファイルが作成されます。
エラー分のみインポートできていない状態となります。
「未処理伝票」のファイル内容を修正し、修正したファイルを指定してインポートしてください。
- ② エラーデータがある場合はインポート処理を全件中止します。
エラー内容が表示されますので、原因を取り除いて再度全件インポートする必要があります。

※ 「2行目から読み込む」チェックONすると、インポートデータの1行目は無視されます。
1行目に列タイトルなどを入力している場合はチェックONしてください。

伝票日付	納期	得意先コード	仕入先コード	納入時間区分	伝区コード	倉庫コード	備
20150417	50420	0001-00	0001-00	0 C10	0000	0	
20150417	20150420	0001-00	0001-00	0 C10	0000	0	
20150417	20150420	0002-00	0002-00	1 C10	0000	0	
20150417	20150420	0002-00	0002-00	1 C10	0000	0	

- ・ インポートファイルの形式に合わせて文字コードと区切り文字を設定することができます。
CSVファイルをインポートする場合は区切り文字を「,(カンマ)」に設定してください。

4) インポートデータ削除

3)で取り込んだデータを一括削除、または取込日、伝票Noを指定して削除することができます。

- ① 削除する伝票を指定して「削除実行」ボタンをクリックします。
確認メッセージが表示されるので、削除してもよければ「はい」をクリックして下さい。

インポートデータ削除

データインポートで作成した伝票を一括削除します。

- ・ 出荷済みの受注伝票、入荷済みの発注伝票は削除されません
- ・ 請求確定済み期間の売上传票も条件が一致すれば削除されます。

受注 売上 発注 仕入

取込日 [2019/01/31] ~ [2019/01/31]

受注No []

Point

- ・ 指定した条件で既にリレー伝票が存在する場合は削除できません。
リレー伝票 …… インポートした伝票と紐づく伝票(受注伝票をリレーして作成された売上传票など)
- ・ エラー発生時は全件削除を中止します。
- ・ 各伝票で手入力に登録した伝票は削除されません。

伝票データインポート

受注インポート項目内容 (1)

項目名	必須項目	項目指定時	データ型	全角文字入力可	桁数(半角)	項目指定なしの場合の設定	備考
受注No	○		文字列		9		採番方法が手入力時のみ必須です。手入力以外の場合は、自動採番されません
受注日	◎	◎	文字列		8		yyyyMMdd形式で指定します。運用設定の入力可年月日を設定している場合は、その範囲内の日付を指定します。
納期	◎	◎	文字列		8		yyyyMMdd形式で指定します。伝票日付以降の日付を指定します。
地区コード			文字列		4	得意先マスタより	
先方注文No			文字列		60		
得意先コード	◎	◎	文字列		14		
得意先名1			文字列	○	100	得意先マスタより	
得意先名2			文字列	○	100	得意先マスタより	
先方担当者名			文字列	○	100	得意先マスタより	
営業担当コード			文字列		4	得意先マスタより	
件名			文字列	○	40		
納入先コード			文字列		14		
納入先名1			文字列	○	100	納入先マスタより	
納入先名2			文字列	○	100	納入先マスタより	
納入先郵便No			文字列		8	納入先マスタより	
納入先住所1			文字列	○	100	納入先マスタより	
納入先住所2			文字列	○	100	納入先マスタより	
納入先住所3			文字列	○	100	納入先マスタより	海外の得意先のみ指定有効
納入先住所4			文字列	○	100	納入先マスタより	海外の得意先のみ指定有効
納入先電話番号			文字列		20	納入先マスタより	
納入先FAX番号			文字列		20	納入先マスタより	
納ご担当者名			文字列	○	100	納入先マスタより	海外の得意先のみ指定有効
摘要コード			文字列		7		
摘要名1			文字列	○	20	摘要マスタより	
摘要名2			文字列	○	20	摘要マスタより	
通貨コード			文字列		3		海外の得意先のみ指定有効
レート			数字		3	月別レートマスタより	海外の得意先のみ指定有効
Ship Via			文字列		200		海外の得意先のみ指定有効
船名等タイトル			文字列		20		海外の得意先のみ指定有効 "Vessel Name" "Tracking Number" のみ指定可能
船名等値			文字列		200		海外の得意先のみ指定有効
メモ			文字列		200		
伝区コード		◎	文字列		3	410:掛受注	以下の数字を指定します。 410:掛受注、412:掛値引、413:掛経費 490:摘要、491:メモ
倉庫コード	◎	◎	文字列		4		在庫管理する商品は指定必須です。
商品コード	◎	◎	文字列		14		
品名1			文字列	○	40	商品マスタより	
規格・型番			文字列	○	40	商品マスタより	
課税区分コード			文字列		3	商品マスタより	課税区分マスタに登録している課税区分コード(売上)を指定します。

伝票データインポート

受注インポート項目内容 (2)

項目名	必須項目	項目指定時	データ型	全角文字入力可	桁数(半角)	項目指定なしの場合の設定	備考
LOTNo			文字列		12		ロット商品のみ取込可。ただし、ロット商品であっても空白で取込むことも可。 受注伝区のみ指定可。
原単価区分			文字列			商品マスタより	P(数量×単価)、K(重量×単価)のいずれかを指定します。
単価区分			文字列			商品マスタより	P(数量×単価)、C(ケース×単価)、K(重量×単価)のいずれかを指定します。
入数						商品マスタより	
ケース数						1	
受注数量	◎	◎	数字		7		指定小数点以下桁数まで可(運用設定)
単位名称			文字列		4		
受注重量			数字		7	数量×商品マスタ単位重量	指定小数点以下桁数まで可(運用設定)
受注単価	◎	◎	数字		9		指定小数点以下桁数まで可(運用設定) 海外の得意先は指定無効。(外貨単価×レートが設定されます)
受注金額			数字		11	自動計算	指定小数点以下桁数まで可(運用設定) 海外の得意先は指定無効。(外貨金額×レートが設定されます)
受注原単価			数字		9	売上原単価算出法に従う	指定小数点以下桁数まで可(運用設定)
入力原価			数字		11	自動計算	指定小数点以下桁数まで可(運用設定)
外貨単価			数字		9		海外の得意先のみ指定必須
外貨金額			数字		11		海外の得意先のみ指定有効
備考1			文字列	○	20		
備考2			文字列	○	20		
チェックマーク			数字		1		0:チェックオン 1:チェックオフ
仕入先コード			文字列		14		

伝票データインポート

売上インポート項目内容 (1)

項目名	必須項目	項目指定時	データ型	全角文字入力可	桁数(半角)	項目指定なしの場合の設定	備考
売上日	◎	◎	文字列		8		yyyyMMdd形式で指定します。 運用設定の入力可年月日を設定している場合は、その範囲内の日付を指定します。
出庫日			文字列		8	売上日	yyyyMMdd形式で指定します。
地区コード			文字列		4	得意先マスタより	
伝票番号	○	◎	文字列		9		採番方法が手入力時のみ必須です。 手入力以外の場合は、自動採番されます。
得意先コード			文字列		14		
得意先名1			文字列	○	100	得意先マスタより	
得意先名2			文字列	○	100	得意先マスタより	
先方担当者名			文字列	○	100	得意先マスタより	
先方注文No			文字列		60		
営業担当コード			文字列		4	得意先マスタより	
件名			文字列	○	40		
納入先コード			文字列		14		
納入先名1			文字列	○	100	納入先マスタより	
納入先名2			文字列	○	100	納入先マスタより	
納入先郵便No			文字列		8	納入先マスタより	
納入先住所1			文字列	○	100	納入先マスタより	
納入先住所2			文字列	○	100	納入先マスタより	
納入先住所3			文字列	○	100	納入先マスタより	海外の得意先のみ指定有効
納入先住所4			文字列	○	100	納入先マスタより	海外の得意先のみ指定有効
納入先電話番号			文字列		20	納入先マスタより	
納入先FAX番号			文字列		20	納入先マスタより	
納ご担当者名			文字列	○	100	納入先マスタより	海外の得意先のみ指定有効
請求締日			文字列		8	得意先マスタより	yyyyMMdd形式で指定します。 得意先マスタの締日と一致しなければいけません
計上フラグ		◎	数字		1	1:計上	0:未計上 1:計上
摘要コード			文字列		7		
摘要名1			文字列	○	20	摘要マスタより	
摘要名2			文字列	○	20	摘要マスタより	
通貨コード			文字列		3		海外の得意先のみ指定有効
レート			数字		3	月別レートマスタより	海外の得意先のみ指定有効
Ship Via			文字列		200		海外の得意先のみ指定有効
船名等タイトル			文字列		20		海外の得意先のみ指定有効 "Vessel Name" "Tracking Number" のみ指定可能
船名等値			文字列		200		海外の得意先のみ指定有効
メモ			文字列		200		
伝区コード		◎	文字列		3	510:掛売上	以下の数字を指定します。 510:掛売上、511:掛売返、512:掛値引 513:掛経費 590:摘要、591:メモ
倉庫コード	◎	◎	文字列		4		在庫管理する商品は指定必須です。
商品コード	◎	◎	文字列		14		

伝票データインポート

売上インポート項目内容 (2)

項目名	必須項目	項目指定時	データ型	全角文字入力可	桁数(半角)	項目指定なしの場合の設定	備考
LOTNo			文字列		12		ロット商品は指定必須。売上傳区のみ指定可。
品名1			文字列	○	40	商品マスタより	
規格・型番			文字列	○	40	商品マスタより	
課税区分コード			文字列		3	商品マスタより	課税区分マスタに登録している課税区分コード(売上)を指定します。
原単価区分			文字列			商品マスタより	P(数量×単価)、K(重量×単価)のいずれかを指定します。
単価区分			文字列			商品マスタより	P(数量×単価)、C(ケース×単価)、K(重量×単価)のいずれかを指定します。
入数						商品マスタより	
ケース数						1	
売上数量	◎	◎	数字		7		指定小数点以下桁数まで可(運用設定)
単位名称			文字列		4		
売上重量			数字		7	数量×商品マスタ単位重量	指定小数点以下桁数まで可(運用設定)
売上単価			数字		9	金額÷数量 (端数四捨五入)	指定小数点以下桁数まで可(運用設定)。 金額からの逆算は単価区分に従います (金額÷数量、金額÷ケース数、金額÷重量)。 海外の得意先は指定無効。(外貨単価×レートが設定されます)
売上金額	◎	◎	数字		11		指定小数点以下桁数まで可(運用設定) 海外の得意先は指定無効。(外貨金額×レートが設定されます)
売上原単価			数字		9	売上原単価算出法に従う	指定小数点以下桁数まで可(運用設定) 移動平均原単価やロット原価は自動算出されるため指定無効です。
入力原価			数字		11	自動計算	指定小数点以下桁数まで可(運用設定)
外貨単価			数字		9		海外の得意先のみ指定有効
外貨金額			数字		11		海外の得意先のみ指定必須
備考1			文字列	○	20		
備考2			文字列	○	20		
チェックマーク			数字		1		0:チェックオン 1:チェックオフ

伝票データインポート

発注インポート項目内容

項目名	必須項目	項目指定時	データ型	全角文字入力可	桁数(半角)	項目指定なしの場合の設定	備考
発注No	○		文字列		9		採番方法が手入力時のみ必須です。手入力以外の場合は、自動採番されません。
発注日	◎	◎	文字列		8		yyyyMMdd形式で指定します。運用設定の入力可年月日を設定している場合は、その範囲内の日付を指定します。
納入期日	◎	◎	文字列		8		yyyyMMdd形式で指定します。伝票日付以降の日付を指定します。
地区コード			文字列		4	仕入先マスタより	
仕入先コード	◎	◎	文字列		14		
仕入先名1			文字列	○	100	仕入先マスタより	
仕入先名2			文字列	○	100	仕入先マスタより	
先方担当者			文字列	○	20	仕入先マスタより	
営業担当コード			文字列		4	仕入先マスタより	
件名			文字列	○	40		
直送先コード			文字列		14		
直送先名1			文字列	○	100	直送先マスタより	
直送先名2			文字列	○	100	直送先マスタより	
直送先郵便No			文字列		8	直送先マスタより	
直送先住所1			文字列	○	100	直送先マスタより	
直送先住所2			文字列	○	100	直送先マスタより	
直送先住所3			文字列	○	100	直送先マスタより	海外の仕入先のみ指定有効
直送先住所4			文字列	○	100	直送先マスタより	海外の仕入先のみ指定有効
直送先電話番号			文字列		20	直送先マスタより	
直送先FAX番号			文字列		20	直送先マスタより	
摘要コード			文字列		7		
摘要名1			文字列	○	20	摘要マスタより	
摘要名2			文字列	○	20	摘要マスタより	
通貨コード			文字列		3		海外の仕入先のみ指定有効
レート			数字		3	月別レートマスタより	海外の仕入先のみ指定有効
Ship Via			文字列		200		海外の仕入先のみ指定有効
メモ			文字列		200		
伝区コード		◎	文字列		3	010:掛発注	以下の数字を指定します。 010:掛発注、012:掛値引、013:掛経費 090:摘要、091:メモ
倉庫コード	◎	◎	文字列		4		在庫管理する商品は指定必須です。
商品コード	◎	◎	文字列		14		
品名1			文字列	○	40	商品マスタより	
規格・型番			文字列	○	40	商品マスタより	
課税区分コード			文字列		3	商品マスタより	課税区分マスタに登録している課税区分コード(仕入)を指定します。
原単価区分			文字列			商品マスタより	P(数量×単価)、K(重量×単価)のいずれかを指定します。
入数						商品マスタより	
ケース数					1		
発注数量	◎	◎	数字		7		指定小数点以下桁数まで可(運用設定)
単位名称			文字列		4		
発注重量			数字		7	数量×商品マスタ単位重量	指定小数点以下桁数まで可(運用設定)

伝票データインポート

発注インポート項目内容 (2)

項目名	必須項目	項目指定時	データ型	全角文字入力可	桁数(半角)	項目指定なしの場合の設定	備考
発注単価	◎	◎	数字		9		指定小数点以下桁数まで可(運用設定) 海外の仕入先は指定無効。(外貨単価×レートが設定されます)
発注金額			数字		11	自動計算	指定小数点以下桁数まで可(運用設定) 海外の仕入先は指定無効。(外貨金額×レートが設定されます)
外貨単価			数字		9		海外の仕入先のみ指定有効
外貨金額			数字		11		海外の仕入先のみ指定必須
備考1			文字列	○	20		
備考2			文字列	○	20		
チェックマーク			数字		1		0:チェックオン 1:チェックオフ

伝票データインポート

仕入インポート項目内容

項目名	必須項目	項目指定時必須	データ型	半角文字入力可能	桁数(半角)	項目指定なしの場合の設定	備考
仕入日	◎	◎	文字列		8		yyyyMMdd形式で指定します。 運用設定の入力可年月日を設定している場合は、その範囲内の日付を指定しま
地区コード			文字列		4	仕入先マスタより	
伝票番号	○	◎	文字列		9		採番方法が手入力時のみ必須です。 手入力以外の場合は、自動採番されま
仕入先コード	◎	◎	文字列		14		
仕入先名1			文字列	○	100	仕入先マスタより	
仕入先名2			文字列	○	100	仕入先マスタより	
先方担当者			文字列	○	20	仕入先マスタより	
営業担当コード			文字列		4	仕入先マスタより	
件名			文字列	○	40		
直送先コード			文字列		14		
直送先名1			文字列	○	100	直送先マスタより	
直送先名2			文字列	○	100	直送先マスタより	
直送先郵便No			文字列		8	直送先マスタより	
直送先住所1			文字列	○	100	直送先マスタより	
直送先住所2			文字列	○	100	直送先マスタより	
直送先住所3			文字列	○	100	直送先マスタより	海外の仕入先のみ指定有効
直送先住所4			文字列	○	100	直送先マスタより	海外の仕入先のみ指定有効
直送先電話番号			文字列		20	直送先マスタより	
直送先FAX番号			文字列		20	直送先マスタより	
支払締日			文字列		8	仕入先マスタより	yyyyMMdd形式で指定します。 仕入先マスタの締日と一致しなければいけません
計上フラグ		◎	数字		1	1:計上	0:未計上 1:計上
摘要コード			文字列		7		
摘要名1			文字列	○	20	摘要マスタより	
摘要名2			文字列	○	20	摘要マスタより	
通貨コード			文字列		3		海外の仕入先のみ指定有効
レート			数字		3	月別レートマスタより	海外の仕入先のみ指定有効
Ship Via			文字列		200		海外の仕入先のみ指定有効
メモ			文字列		200		
伝区コード		◎	文字列		3	110:掛仕入	以下の数字を指定します。 110:掛仕入、111:掛仕返、112:掛値引 113:掛経費、 190:摘要、191:メモ
倉庫コード	◎	◎	文字列		4		在庫管理する商品は指定必須です。
商品コード	◎	◎	文字列		14		
LOTNo			文字列		12		
賞味期限			文字列		8		yyyyMMdd形式で指定します。
品名1			文字列	○	40	商品マスタより	
規格・型番			文字列	○	40	商品マスタより	
課税区分コード			文字列		3	商品マスタより	課税区分マスタに登録している課税区分コード(仕入)を指定します。
原単価区分			文字列			商品マスタより	P(数量×単価)、K(重量×単価)のいずれかを指定します。
入数						商品マスタより	
ケース数						1	
仕入数量	◎	◎	数字		7		指定小数点以下桁数まで可(運用設定)
単位名称			文字列		4		
仕入重量			数字		7	数量×商品マスタ単位重量	指定小数点以下桁数まで可(運用設定)

仕入インポート項目内容 (2)

項目名	必須項目	項目指定時必須	データ型	半角文字入力可能	桁数(半角)	項目指定なしの場合の設定	備考
仕入単価	◎	◎	数字		9		指定小数点以下桁数まで可(運用設定) 海外の仕入先は指定無効。(外貨単価×レートが設定されます)
仕入金額			数字		11	自動計算	指定小数点以下桁数まで可(運用設定) 海外の仕入先は指定無効。(外貨金額×レートが設定されます)
外貨単価			数字		9		海外の仕入先のみ指定有効
外貨金額			数字		11		海外の仕入先のみ指定必須
備考1			文字列	○	20		
備考2			文字列	○	20		
チェックマーク			数字		1		0:チェックオン 1:チェックオフ